

宗片邦義氏叙勲の御祝い

岡本 靖正

OKAMOTO Yasumasa

ご叙勲おめでとうございます。

長い教育研究のお仕事と、さらにその基板に立った能シェイクスピアの国内外での活動に対しての栄誉と存じます。お慶び申し上げます。

以前に国際融合文化学会でもたぶんお話したのですが、やはり思い出されるのは、学部4年のときに、”Act I of *Hamlet in Full*”と銘打って第一幕だけ上演したときのことですね。

宗片ハムレットの美しい発音と身体の動きによってシェイクスピアの詩が舞台化されたとき、台詞が身体の動きを、あるいは身体の動きが台詞を誘い出すシェイクスピアの詩の不思議を体感しました。

二日間の上演の前に、それぞれ吉田健一、西脇順三郎氏に講演していただいたことも、思えば贅沢なことでした。

朝永振一郎学長もご覧下さり、二日目の終了後、成田成壽先生が文学部長室にわれわれも呼んで下さって、朝永先生はこの名優たちを卒業させるのは惜しいから留年させようと冗談を言われ、ウィスキーに陶然とされた西脇先生が、物理学者を相手に、詩は二つの相反するものの融合で原子爆弾に似ているのだと西脇詩論を展開されるのを、われわれは興奮しながら聴いていましたね。

思い出話をするのは歳をとった証拠です。私事ながら、結婚式の折、媒酌して下さった福原麟太郎先生が躑の言葉として、「初心忘るべからず」と「花は散らで残りしなり」という世阿弥の言葉を下さいました。

これからさらに「古い木の花」を咲かせられることを念じております。

(東京学芸大学元学長・英文学)